

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

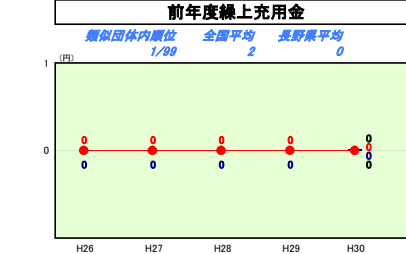
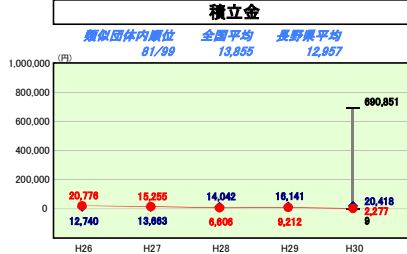
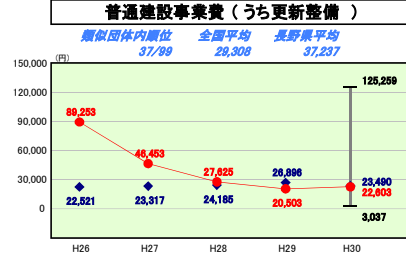
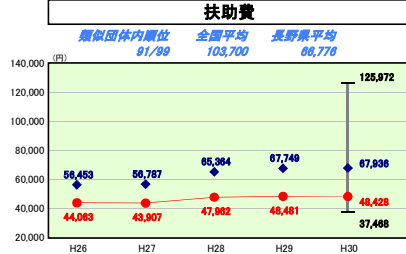
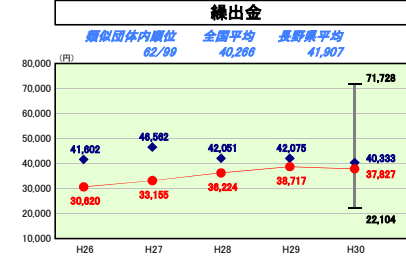
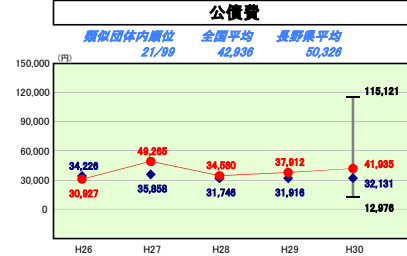
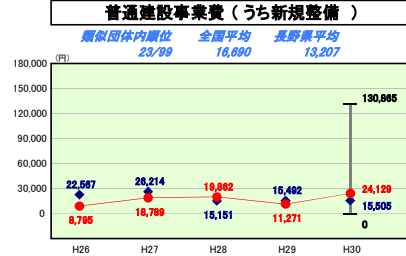
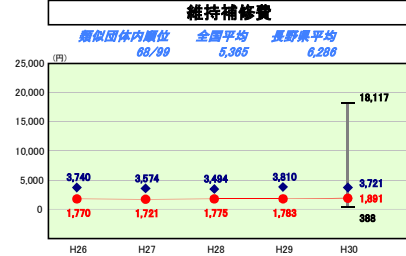
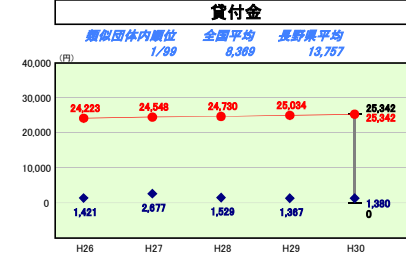
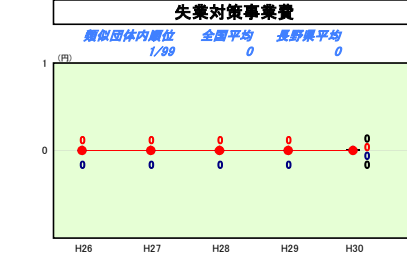
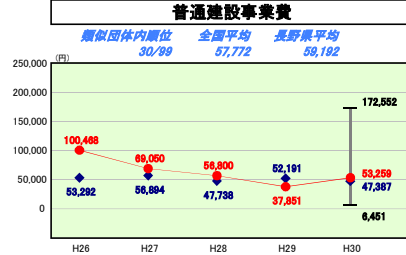
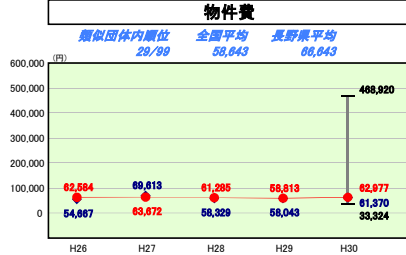
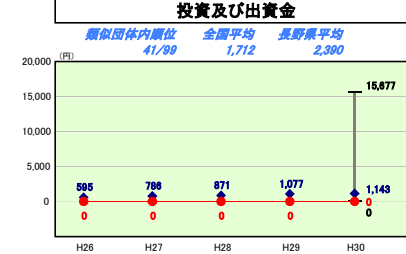
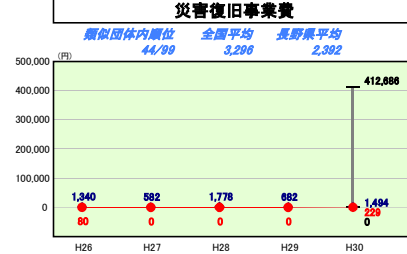
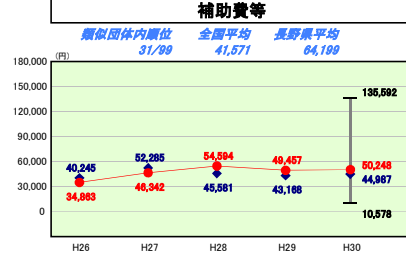
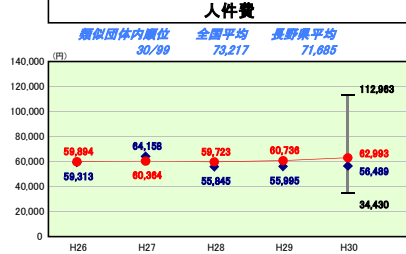
平成30年度

長野県下諏訪町

人口	20,243 人 (H31.1.1現在)	実赤字比率	- %
うち日本人	19,983 人 (H31.1.1現在)	通算実赤字比率	- %
面積	68.87 km ²	実公債費比率	3.1 %
人口総額	8,196,741 千円	実負担比率	72.7 %
歳入総額	7,842,278 千円	市町村類型	H26 V-2 H27 V-1 H28 V-2
歳出総額	347,786 千円	(年度毎)	H29 V-2 H30 V-2
実収支	4,843,827 千円		
標準財政規模	9,808,848 千円		
地方債残高			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

類似団体と比較して16項目中14項目については概ね同程度の数値となっている。他団体との差が見られる項目については、以下の要因によるものと考えられる。最も他団体との差が大きい貸付金については、勤労者の生活安定や中小企業等の円滑な資金調達のための各種融資制度を充実させているためと思われる。扶助費については、他団体と比べ低い数値で推移しているものの、当町の高齢化率は他市町村に比べて高く、社会福祉にかかる決算額が増額傾向にあるため、将来の扶助費増加が懸念される。

年度の推移で特徴的なところとしては、普通建設事業費については、平成29年度から30年度にかけて大幅に増加しているが、平成30年度において実施した総合運動場管理施設改築事業(182,477千円)、防災行政無線設備更新事業(120,000千円)の増増によるものである。公債費については、平成27年度の数値が突出しているが、これは繰上償還をしたことが影響しており、この影響を排除した経年推移では過去に実施してきた大型建設事業の地方債の償還が本格的に始まっていることから増加傾向となっており、今後しばらくはこの傾向が続くと見込まれる。